



## 狛江市総合水防訓練に参加



中央は狛江市相談員  
(辻村智子市議)



自衛隊東京地方協力本部府中分駐所（所長 近藤一等陸尉）は6月16日、狛江市にある多摩川緑地公園グラウンドで実施された「令和6年度狛江市総合水防訓練」において、航空自衛隊中部航空管制団の支援を受けて募集広報活動を実施した。

狛江市が主催する本訓練は、昭和49年の多摩川堤防決壊による水害から50年の節目の年として、市民の水害への備えの意識の啓発を目的とした訓練で、調布警察署、東京消防庁等の機関が参加し、各種防災体験や展示の他、大規模な劇場型水防演習が実施され、多くの市民がそのリアルな演習を前に防災意識を高めた。

府中分駐所が設置した広報ブースでは、5t水タンク車及び炊事車の車両展示を始め、空挺自由降下、ブルーインパルスの操縦及び10式戦車操縦の3種のVR体験、自衛隊PR映像の放映等を実施した。

お子様連れの御家族等多くの来場者が訪れ、展示車両前での写真撮影やVR体験に心躍らせていた。炊事車を前にした御家族は、「自衛隊のキッチンカーですね。こんな車もあるなんて本当に頼もしいです。」と驚いている様子だった。

府中分駐所では、今後も各自治体、部隊等と連携しつつ、地域に密着した募集・広報活動を実施して、防衛省・自衛隊に対する理解と興味を獲得して将来の募集活動に繋げていくとしている。

## 大学生がゼミ教官と厚木航空基地見学

自衛隊東京地方協力本部世田谷募集案内所（所長 巻口3陸佐）は6月17日、国士舘大学の柴田講師並びにそのゼミ生31名及び日本大学の海上自衛官を希望する学生4名に対して厚木航空基地見学を実施した。

午前中のメインは、第51航空隊の支援によるP-3C哨戒機及びSH-60K哨戒ヘリコプターの機内見学であった。エプロン及び格納庫で実機を見た学生達は、その大きさと機内の緻密な装置に圧倒されていた。また、搭乗員からの機体の特徴であるレダーやソノブイ等の説明を、真剣な表情で聞いていた。機内では搭乗員達から設備や仕事について説明を受けた。実際にコックピットの操縦席に座ったりと貴重な体験ができ感激していた。また、午後からは航空機の整備現場を見学し、整備員からの説明を受けることで緻密な航空機整備の魅力とやりがいを感じる事ができた。

参加者からは、「実際に自衛隊で働いている隊員から仕事のやりがい等を聞いて自衛隊も選択肢に入れてみようかなと思えました。とても有意義な時間でした。」等の意見が聞かれ、自衛隊に対する理解の促進と受験意欲の向上が図れた様子であった。

世田谷募集案内所では、今後も募集対象者のニーズに応じた活動を行うとともに、大学と連携した広報活動を実施して防衛省・自衛隊に対する理解を深め、自衛官募集業務に対する協力関係の強化を図っていくとしている。

